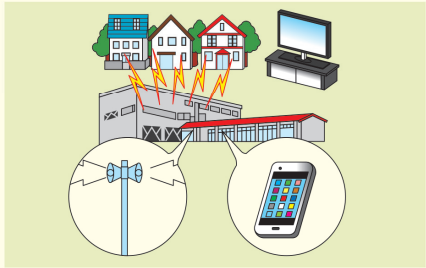


日ごろの火山噴火対策

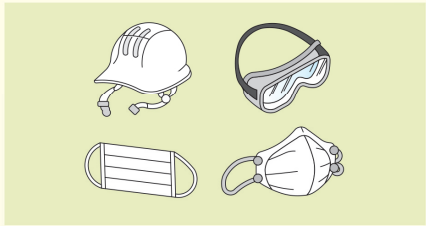
火山・防災情報に注意する

- 「火山に関する情報」等を日頃からチェックしましょう。
- 防災行政無線やメール配信サービスなどの噴火に関する情報に注意しましょう。
- 迷信やSNSのデマに惑わされないようにしましょう。



防災用品を準備する

- 小さな噴石にはヘルメット、降灰があるときはマスクやゴーグルが効果的です。



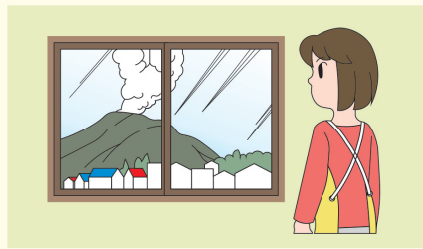
噴火が起きたときのことを考える

- 浅間山ではどのような噴火災害が考えられるのか、この「浅間山火山防災マップ」で知っておきましょう。
- 家族みんなで避難する場所を確認しておきましょう。



浅間山の噴煙を見る習慣をつける

- 「噴煙に色はついているか、量は増えているか」「火山ガス特有のにおい（卵が腐ったようなにおい）はしないか」などが目安となります。

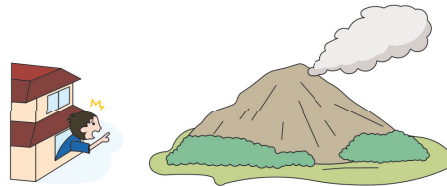


火山の異常を見つけた時は

情報を待っている間に合わない場合もあります。異常に気が付いたらすぐに避難し、市や警察などに連絡しましょう。

異常と思われる現象の例…

- いつもより噴煙が特によく見える
- 地鳴りが聞こえる（地下からの鳴動）
- いつもより火山ガスのおいが特に強い
- 顕著な地形の変化
- 温泉の泉質や温度の大きな変化
- 広範囲にわたる不自然な草木の立ち枯れ



火山の異常等に関する連絡先

小諸市役所
小諸警察署
気象庁浅間山火山防災連絡事務所

電話 0267-22-1700
電話 0267-22-0110
電話 0267-45-2167

浅間山の研究

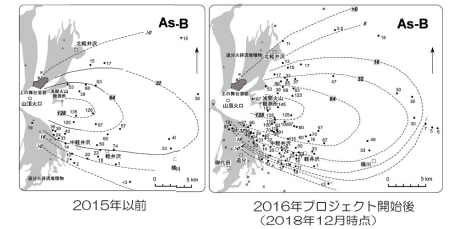
浅間山では古くから火山研究が進められてきました。過去の噴火や地下構造など未解明な点が多く、現在でも精力的に研究が進められています。ここでは、浅間山の最新の研究について紹介します。

●噴火史の復元

平成28年度から始まった文部科学省の「次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト」では、浅間山の噴火史の復元を目指した研究が行われています。古文書が少なく不明点が多かった天仁噴火や、さらに古い時代の地層について、トレンチと呼ばれる観察用の穴を掘削して、1万年以上にさかのぼる地質調査を行っています。



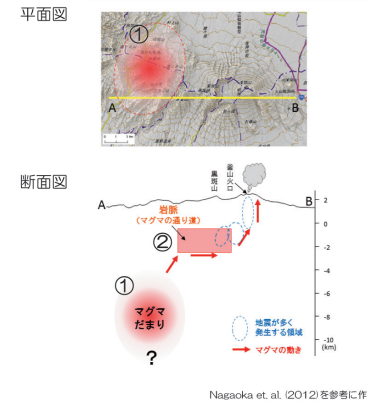
天仁噴火の火山灰の上には、天明噴火などの火山灰が厚くたまっているため、浅間山東側の分布がよくわかりませんでした。今回のトレンチ調査等により調査地点が増え、天仁噴火の時の火山灰分布図がより詳しく描けるようになりました。



●浅間山の地下構造

浅間山の周辺には、東京大学地震研究所、気象庁、国土院等の観測網がはりめぐらされ、地震、地殻変動、重力、電磁気、熱異常などについての観測が行われています。

観測体制が整った後の噴火（2004年や2009年）の観測データを解析することで、マグマの動きなどを捉えることに成功しています。また、人工地震を用いた調査、臨時地震観測、新しい解析手法などにより、浅間山の地下構造が明らかとなってきました。最新の研究によって、浅間山山頂の西側約8kmの深さ5~10kmのところに「マグマだまり」があると考えられています（右図①）。また、浅間山の地下3-4kmでは、山頂西側にあるマグマだまりから山頂（釜山火口）につながる「マグマの通り道」があると考えられています（右図②）。



浅間山に関する情報

▽浅間山の状況を知りたいときやライブカメラを見たいとき

➤気象庁ホームページ（浅間山の活動状況）
https://www.data.imago.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/306.html
・噴火警戒レベルや火山に関する解説情報を確認できます。



➤利根川水系砂防事務所 http://www.ktr.mlit.go.jp/tonesui/tonesui_index005.html
長野県佐久建設事務所 <http://www.sakuken-asama.jp>
・ライブカメラで浅間山の様子を見ることができます。



←利根川水系砂防事務所カメラ
・浅間山東
・浅間山西



←長野県佐久建設事務所カメラ
・黒斑山
・御代田町役場
・軽井沢町役場



▽浅間山に関する防災情報を知りたいとき

➤小諸市ホームページ
https://www.city.komoro.lg.jp/kurashi_tetsuzuki/bosai_anzen/asamayamabosaijoho/index.html

